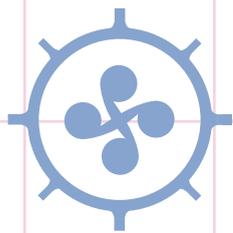




あまちゃん効果で観光スポットとなっている三鉄堀内駅



あなたと議会のかけはし

ふだい

# 議会だより

No. 124

平成25年 8月 1日発行

- 第5回定例会 2～3頁
- 一般質問「問う」 4～6頁
- 第4回臨時議会 7頁
- 復興事業工事視察 8頁
- 主な議会の動き 8頁

# 村民の声から工事費1600万円追加

村政懇談会や村民と議会との意見交換会などでの要望に予算を増額

6月定例会は6月20日に開かれました。観光誘客効果促進事業660万円などをもり込む一般会計予算など5議案の審議を行い、すべての議案を原案通り可決しました。一般質問には3人が登壇し、水道水の検査、人口減少対策、3・11の総括と大災害時の消防団のあり方などについて村当局の考え方をたしました。主な内容をお知らせします。

## 条例改正

村税条例の東日本大震災に係る固定資産の特例等を一部改正したものです。

## 一般会計補正予算

補正額1億1409万7千円を増額し歳入歳出の総額を29億7636万6千円にしました。

歳入の主なものは、  
震災復興特別交付金 1026万8千円  
災害廃棄物処理事業国庫補助金 4740万9千円  
前年度繰越金 3425万5千円  
などが増額となります。  
歳出の主なものは下表の通りです。

## 補正予算の主な内容

事業名	金額	内容
観光誘客効果促進事業	660万円	観光案内板設置6ヶ所 堀内駅周辺舗装工事
ふだいまつり上組コミュニティ助成事業	250万円	宝くじからの助成金
地域支え合い体制づくり事業システム導入委託料	393万円	災害などで避難する際に援助を必要とする人の体制づくりに使う
平成23年度認定子ども園負担金	127万円	負担金の差額還付
久慈地区斎場火葬料助成	40万円	火葬大人1遺体1万円を助成するもの
麻疹・風疹予防接種委託料	176万円	混合ワクチン160人分
漁港施設維持修繕工事	300万円	黒崎漁港の段差解消 手すり、階段、係船環
大沢川護岸補修工事	300万円	コブコガ沢と大沢川の合流付近
鳥居地区水路補修工事	400万円	鳥居川支流
住宅リフォーム推進事業報償費	210万円	30万円以上の工事に対し10万円を限度に補助する事業で商工会発行の商品券に変更
ガレキ処理事業	5,267万円	震災で発生した木などがまざった土砂の処理
村道堀内港線舗装復旧工事	500万円	松磯公園から漁港付近まで

## こども園

問 23年度分のこども園賄材料費の払い戻しはなぜ今年度に出てくるのか。基本的な公金管理ミスではないのか？

答 23年度からこども園の完全給食がスタートした。本来は、学校給食と同様に給食費と支出はイコールとなるもので、残金は還付しなければならなかった。

学校とは収支管理が異なっていたこともあり、還付するという認識不足があったようだ。24年度分はすでに還付を終え、23年度分が計上された。今後は収支管理を徹底する。保護者の皆様にはご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。



黒崎漁港の段差写真

## 漁港工事



8月1日から共用開始となる久慈地区斎場

問 黒崎漁港の修繕工事の内容は？

答 共同倉庫の前の段差が危険であるので、防護柵を設置する工事である。



23年度から完全給食がスタートしたこども園

## 省エネ

そのマップの作成もするためのソフト委託料である。

問 漁業生産施設省エネ調査の内容はどのようなものか？

答 「すき昆布の乾燥に灯油が使われているが、非常に負担が大きい。メーカーからの提案で、除湿機を使えば早い時間で乾燥できる可能性がある」ということで、その調査のために三台分の乾燥機のリース料や業者の調査費、交通費などが15万8千円となる。



昆布作業

## 斎場

問 久慈地区斎場火葬料金の補助金は村独自のサービスである。他市町村の動向を伺う。

答 更新が6か所、老朽化による撤去が2か所となる。新設として普代水門の所と堀内駅周辺の予定である。



現在設置されている案内板



観光スポットとなっている堀内駅

## 地域支えあい

問 地域支え合い体制作りの予算400万円の使い方を伺う。

答 住民からの要支援者の名簿が思うようにはかどらず、役場で作成することに変更し、

## 補正予算

定例会に出された……当初予算に対して新規事業の発生や金額の変更などがある場合、予算の補正を議会で議決します。主な質疑の内容はつぎのとおりです。

### 〈質疑内容〉

#### あまちゃんスポット

問 観光誘客効果として新たに660万円計上された内容を伺う。

答 あまちゃん効果による観光スポットとして、堀内駅前の舗装整備やバス待合所の設置・改修、村内案内板更新などの費用となる。

バス停はまついそ公園入口の国道沿いに新設し、村尾商店さん前のバス待合所は改修する。

問 観光誘客のための案内板は何か所で、どこに設置されるのか伺う。

一般質問



問

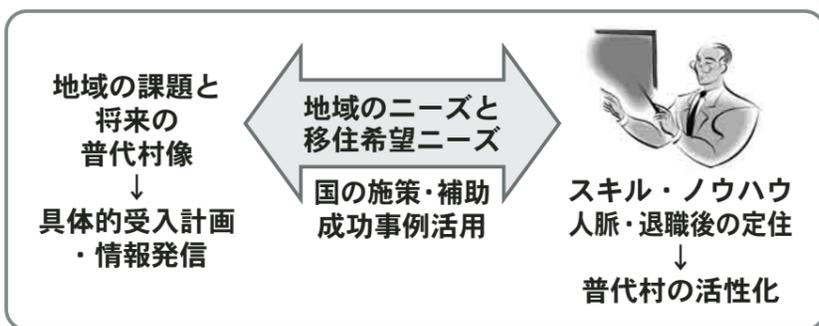
村の人口減、課題と方策は？

漁業を基点に六次産業化推進

榎屋 村長

中上 議員

〈人材誘致概念図〉



**問** 人口が減少する中で、今後どのような方策を取って対処しようとしているのか伺う。

**村長** 出生数増加のため特定不妊治療への助成、出産育児祝い金の支給、幼児教育施設の充実、高校生までの医療費無料化などに取り組んでいる。若者の定住促進のため公営住宅の整備や家賃助成、空き家バンク制度の運用による住宅等の加工対策などの取り組みもやっている。流通、販売までを網羅した漁業生産を基点に六次産業化



堀内地区漁村センター前に建設中の公営住宅。2棟増加して、計4棟に。

を推進し、他産業も取り込み雇用創出を図っていく。

**問** 今一番の優先課題は人を誘致していく方策である。国で行っている定住促進施策をもっと積極的に活用すべきであり、村の移住定住の情報発信もなされていない。

**村長** 人材誘致は市町村長会



リニューアルしたホームページの情報発信は進むか？

議でも案内を頂いている。検討するよう取り組んでいるが、たまたま昨年度は申し込み期限に間に合わないということもあり、今後検討しようということにしてある。具体的な人口対策ということになれば、新設道路も通り、村の所有する未使用の土地を安く提供して移住を促進できないものかとも考えている。また、道路事情がよくなれば通勤圏が広がる。若者定住に向け戸建住宅建設にも力を入れていく状況である。村のホームページについても、もっと積極的に活用させていく。

**問** 地域活性化策ともなる、総務省が進める「地域おこし協力隊」の積極的活用の考えは？

**村長** 「地域おこし協力隊」についても承知し、担当課等と相談している。さらに検討を深めていく。

一般質問

問

汚染監視の徹底を求める  
—— 坂下 議員

万全に取り組む

—— 榎屋 村長



**問** ①水質検査以外の日の汚染見逃しの懸念はないか？  
②水道供給施設は毎日の試飲確認が必要ではないか？



家庭の水道水

**村長** 既設管と新設管の接続など水道水以外が混入する恐れがあり、水質管理に重大な影響がある箇所の作業については村の職員が立会いに万全を期すよう取り組んでいる。水質検査は各戸給水の蛇口から採取しての上水検査は9項目について年に8回、24項目について年に3回、82項目について年1回の計12回毎月検査を行っている。また取水河川などからの原水検査も数十項目について年7回行っている。



河川水源

その結果は今の所良好な結果である。村民からの情報により随時検査にも対応しながら、今後も村民に不安を与えることのないように安全な水道水の供給に努めていく。供給施設は一日2回見回り点検をしながら巡回している。施設での試飲はできるだけ心がけるようにしたいが、各地の家庭に立ち寄っての毎日の試飲はむずかしい。各家庭で気付いた事があつたときにはご連絡いただくことで対応していく。



堀内地区水道供給施設



## 団員の処遇改善の方向は？

—— 金子 議員

### 改善の余地がある状況である

—— 梶屋 村長

**問** 消防団員のあり方、処遇改善について、3・11の震災経験後、村としてのどのように取り組む方針であるのか村長に伺う。また、小中学生の避難経路はどうであったのか、今後の取組み方針と合わせ、教育長に伺う。



第一分団屯所

**村長** 大震災で多くの消防団員が犠牲になったことから、津波到達予想時刻15分前には全消防団員が高台に避難する事を久慈広域消防本部、広域の各市町村消防団の統一行動として、消防団員安全の為に撤退のルール化を図った。装備面でも全団員のライフジャケットや発電機、投光機など配備した。また、自主防災組織の育成も図り、自助、協助や近所との助け合いなども含め、災害への対応力を高めていく。処遇改善については、大規模災害時の費用弁償の充実拡充等が議論されている所でもある。一時間でも、また災害で一日従事しても同じというのを見直しの余地があるという状況にある。現在検討を重ねている段階である。



特別点検後の村内パレード

**教育長** 震災当日の学校の状況は、小学校は12時30分以下に下校していた。教職員は各自の車で全員避難センター等へ避難した。中学校は授業中だったが、揺れが収まってから体育館脇に全員一時避難した。その後、教職員とともに管理センターへ避難している。

震災発生から4日目に全児童の安否確認ができた。避難行動マニュアルの見直し、避難訓練の充実、防災教育の取組みなどを重点に実施するなど、緊急時の一斉メール配信システムも導入したところである。最終避難引渡し場所の見直しもして、B&G海洋センターに変更した。



普代小学校に完成した2階から避難する橋

小中一貫校の建設に合わせ、校舎を安全な高台に建設する方向で文部科学省へ提出する書類の策定を庁内組織で進めている。

**村有林の整備について**  
**問** 災害防備や海への影響から、村有林の整備について伺う。

**村長** 良好な生活環境の保全として重要と捉える。村有林整備は前向きに対応していく。

民有地については、コナラの造林に対して事業費の約10%を補助している。その他は今後細かい検討をする。



B & G海洋センター周辺の村有林

## 第4回臨時議会

# 黒崎・白井漁港の工事決定

第4回臨時議会は5月31日に開かれました。平成24年度一般会計補正予算の承認を求める議案ほか専決処分3議案、請負契約2件を審議し、いずれも原案通り可決・承認し閉会しました。主な内容をお知らせします。

※専決処分：議会を招集する時間のない案件の場合、村長が決定し、後で議会に報告し承認を求めること。

### 主な質問

**問** 水産加工処理施設整備事業と小学校から中学校への避難路運動場整備事業の減額理由を伺う。

**答** 水産加工処理施設整備事業は中小企業整備機構の予算で整備したので農林水産省分は村の予算から減額した。小学校から中学校への避難路運動場整備事業の減額は普及パイパス建設工事残土を活用したので当初予算より軽減となった。

**問** 80t型の消波ブロックもあるが黒崎漁港（沖防波堤）工事は50t型の消波ブロックを使用している。大しけにも耐えるのか伺う。

**答** 県やコンサルタントと協議して設計しているので通常のしけには十分対応できると考えている。

### 条例改正

地方税法の一部改正により村税条例の寄附金税額控除や固定資産税の納税義務者等などの一部を改正するものです。

### 請負契約

- ▽工事名：黒崎漁港施設機能強化（沖防波堤）工事
- ▽契約金額：7560万円
- ▽請負者：宮城建設株

代表取締役社長 竹田 和正



黒崎前浜

- ▽工事名：白井漁港施設機能強化（北沖防波堤）工事
- ▽契約金額：9292万5千円
- ▽請負者：株小山組

代表取締役 小山 茂

## 第4回臨時議会 主な補正予算

		補正額	補正後の予算額
一般会計		723万4千円	53億2,162万4千円
主な歳出			1億5,317万3千円
財政調整基金積立金			△9,876万7千円
水産加工処理施設整備事業			△603万7千円
中学校防災備蓄倉庫整備事業			△1,263万4千円
小学校から中学校への避難路運動場整備事業（校庭のかさ上げ）			
		補正額	補正後の予算額
特別会計	国民健康保険	1,285万9千円	5億4,930万6千円
	主な歳出		1,010万5千円
			168万3千円

# 復興事業工事視察

6月10日、復興交付金による事業の進捗状況を視察し、その後、全員協議会を開催しました。



鳥居地区の水産倉庫

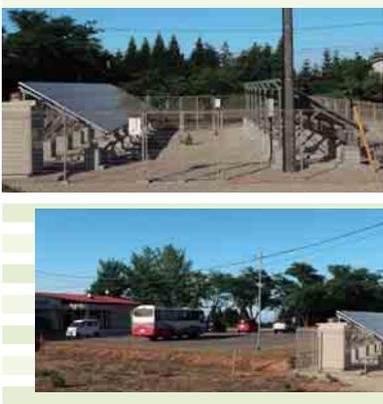


和野山水産倉庫



倉庫前網干場

全協では、議会傍聴者増の対策や意見交換会の反省点などを話し合いました。



くろさき小規模多機能施設に設置された太陽光発電



太田名部奥の大沢線改良工事  
海岸線不通時には向野場へ車で避難可能となる道路

## 議会の主な動き抜粋

4月

▼28日・平成25年度普代村消防団特別点検(村内)

5月

▼20日・東部町村議会議長会定期総会(宮古市)  
▼31日・議会運営委員会(役場)

▼31日・大島理森東日本大震災復興加速化本部長普代村視察(役場)

▼31日・普代村議会第4回臨時会(役場)

6月

▼7日・平成25年度三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会及び国道事務所への要望会(宮古市)  
▼10日・普代村議会全員協議会(役場)

▼17日・議会運営委員会(役場)  
▼20日・普代村議会第5回定例会(役場)

7月

▼18日・普代村議会全員協議会(役場)

## あとかぎ

▼「震災から早くも1年4ヶ月が過ぎました」と昨年の議会だよりのあとがきにあります。もう2年4ヶ月です。いまだに復興が進まないことが毎日のように新聞で報道されています。

震災による仮設住宅暮らしと原発事故による避難生活を強いられる多くの方々の心身疲労も限界ではないのでしょうか？

最近、復興予算の使い方の不満も、ある住民に言われました。多くの人がこれでいいのかと思いつつ、声も出せず不満を抱えているような気がします。

もつと国が現場の実情にあった予算の使い方をできるように、微力ながら我々末端の地方議員も声を出していかなければと思います。皆様の声をお届け下さい。(中上 一登)

## 議会だより編集委員会

- 委員長 中上 一登
- 副委員長 森田 幸一
- 委員 坂下 重敏
- 委員 小中居 光雄

## ふだい議会だより No.124

発行日 平成25年8月1日  
発行集 普代村議会  
編集 議会だより編集委員会  
〒028-8392  
岩手県下閉伊郡普代村  
第9地割字銅屋13番地2  
TEL 0194⑤2118  
FAX 0194⑤2712  
印刷 有限会社 九戸印刷